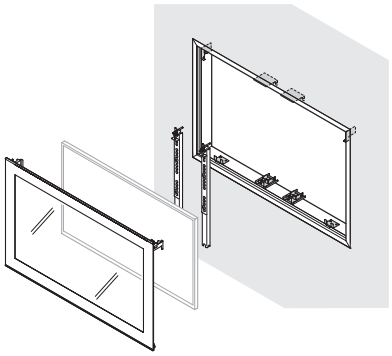


Panasonic

施工説明書

ウォールイン・ディスプレイユニット
品番：VFDシリーズ

■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■この商品は、屋内専用商品です。ただし、屋内であっても搬入台車や開閉ドア、ボールなどの物品が衝突する可能性のある場所でのご使用はおやめください。

■水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。また、熱交換器など高温を発する機器の近くでのご使用はおやめください。テレビの火災、故障、感電などの原因となることがあります。

■配線工事は、必ず「電気工事士」の資格のある方が「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。

■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

■施工後は、引き渡しの際に、取扱説明書にしたがって取り扱い方法をお施主様にご説明いただき、保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 ……表紙
施工上のお願い ……2
運搬・保管上のお願い ……2
設置条件について ……2
各部の名前 ……2
部材・部品表 ……3
施工のながれ ……4
施工手順 ……5
施工後の確認 ……裏表紙

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

禁止	**●分解や改造、施工説明書以外の方法での施工は行わない** 火災や感電、製品の落下によるけがの原因になります。 **●外壁や高温多湿となる場所には設置しない** 内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。 **●カバーガラスにぶらさがらない** カバーガラスの落下によりけがをするおそれがあります。	必ず守る	**●テレビを設置する時、電源コードなどを挟み込まないようにする** 火災や感電、事故の原因になります。 **●スイッチは必ず設置する** 非常時に電源を切ることができず、火災などが発生するおそれがあります。 **●必ず付属の金具、ねじで施工する** 製品を確実に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。 **●施工後は必ず確実に取り付けられたことを確認する** 製品の外れや落下によりけがをするおそれがあります。
必ず守る	**●電気工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う** 火災や感電、事故の原因になります。		

⚠注意

禁止	**●施工は一人作業で行わない** 製品が重量物のため、けがをするおそれがあります。	必ず守る	**●テレビやカバーガラスを設置する時、指を挟み込まないようにする** けがをするおそれがあります。
必ず守る	**●調整する時は、必ず手回しドライバーで作業を行う** 電動ドライバーを使用すると、ねじが空回りして製品の落下・転倒によるけがのおそれがあります。		

シ-467P　第3版1510

お願い

●施工前に設置するテレビの品番（この製品の対象品番であること）・奥行寸法、接続する情報線（テレビアンテナ線、HDMIなど）を確認してください。
●テレビ裏の奥行スペースは約75mmになります。情報線のテレビ差し込み部コネクタ寸法と最小曲げ半径を確認の上、線種選定ください。

施工上のお願い

●ひっかき傷・打痕などには十分気を付けてください。
●表面が汚れた時は、やわらかい布に水でうすめた台所用中性洗剤をしみ込ませ、よく絞ってから表面をふき、その後やわらかい布でからぶきしてください。
●建築完了まで、段ボールなどでカバーガラスの養生をしてください。
●製品をシンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。
色ムラや劣化促進の原因になります。

運搬・保管上のお願い

●製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、平たんな場所に平らに置いてください。
また、壁への立てかけはしないでください。
変形・たわみのおそれがあります。また倒れてガラスが割れるおそれがあります。
●運搬・荷降ろし時は、製品の角から落下や打ち当てによる傷や変形に注意してください。
●カバーガラスは、設置するまで梱包材から出さず、安全な場所に保管してください。

設置条件について

●壁内部の環境条件が下記を満たすことを確認してください。
壁内部温度：0℃～40℃、壁内部相対温度：20%～80%（結露なきこと）
●この製品は壁埋め込み専用です。テレビ背面（壁内部）に光が入り込むような場所に設置しないでください。
カバーガラスの黒印刷部から内部が透けて見えます。
●外壁には施工できません。
●設置する壁内には断熱材を入れることはできません。
●仕上げ材厚が20mmを超える場合は、施工できません。

改訂履歴

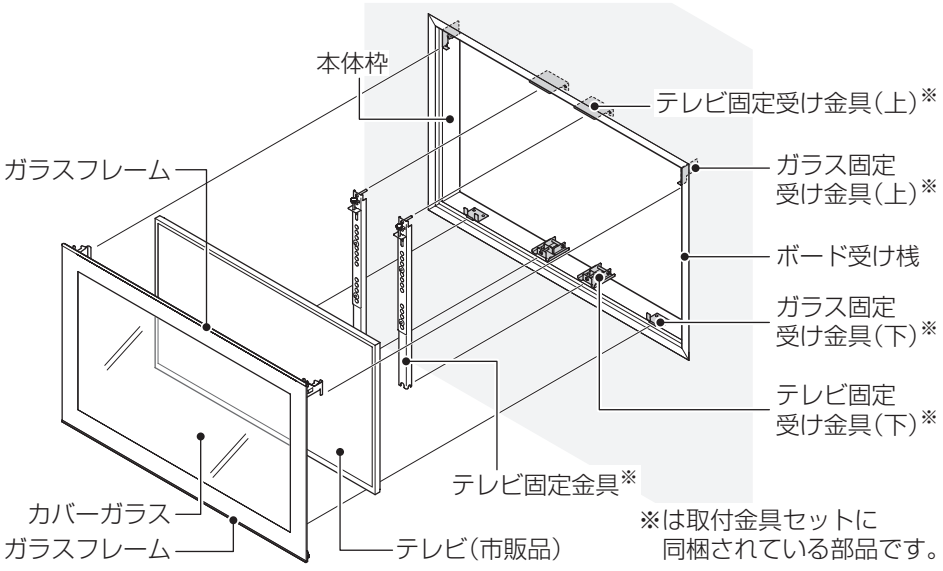
改訂年月	改訂ページ	改訂内容

各部の名前

対象テレビ品番	
32インチ	TH-32C325／TH-32C320
	TH-32C305／TH-32C300
42インチ	TH-42C305／TH-42C300

※2015年10月現在

対象テレビ品番表に記載されていないテレビ品番についてはホームページでご確認いただけます。URLなどの詳細は裏表紙をご覧ください。



部材・部品表

[寸法単位：mm]

■本体枠

部品名＼品種	32インチ	42インチ
横枠（上・下） （上） （下）	各1	各1
縦枠（左・右）	各1	各1
特殊ねじ φ4.8×51	8	8

■ボード受け桟

部品名＼品種	32・42インチ共通
ボード受け桟 L＝1200（横用）	2
ボード受け桟 L＝800（縦用）	2

■取り付け金具セット

部品名＼品種	32インチ	42インチ
ガラス固定受け金具（上）（右・左） （左用）（右用）	各1	各1
ガラス固定受け金具（下）	2	2
テレビ固定受け金具（上）	2	2
テレビ固定受け金具（下）	2	2

部品名＼品種		32インチ	42インチ
テレビ固定金具		2	2
テレビ・ガラス固定受け金具用	なべタッピンねじ φ4×25	22	22
テレビ固定金具用	トラス M4×20	4	―
	なべ M6×20	―	4
	樹脂ワッシャ	4	4
	樹脂ブッシュ	4	4

■カバーガラス

部品名＼品種	32インチ	42インチ
カバーガラス 取扱説明書が貼り付けられています。	1	1

※取扱説明書は、お施主様へお渡しください。

必要な工具などの準備

＋ドライバー　鋼尺（カバーガラス取り外し用）　コンベックス・巻尺　留め定規　電動ドライバー（トルク調整タイプ）　丸のこ

レーザー水準器　木工用ボンド

現場手配のねじ

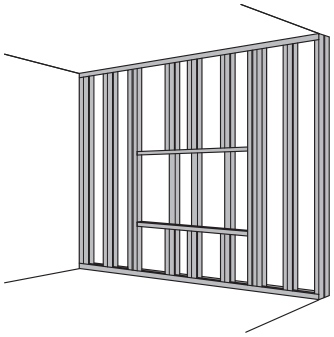
軽鉄下地	なべタッピングねじ φ3.5×35	
	皿タッピングねじ φ3.5×30	
木製下地	皿木ねじ φ4.5×50	
	皿木ねじ φ3.5×32	

施工のながれ

※本図は軽量鉄骨下地にて示しています。

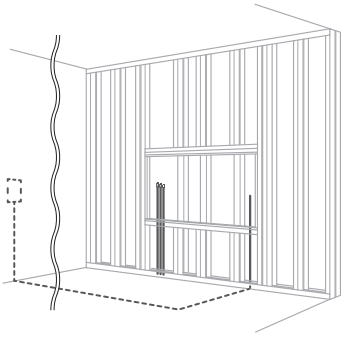
大工工事

1 壁下地施工 ……5ページ



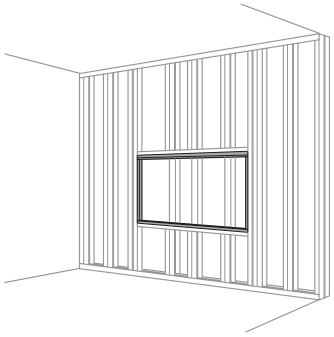
電気工事

2 配線の引き込み ……6ページ



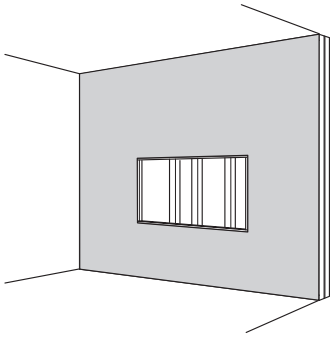
大工工事

3 本体枠・ボード受け桟の取り付け ……6ページ



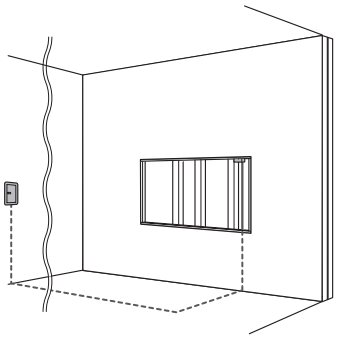
内装工事

4 壁仕上げ ……9ページ



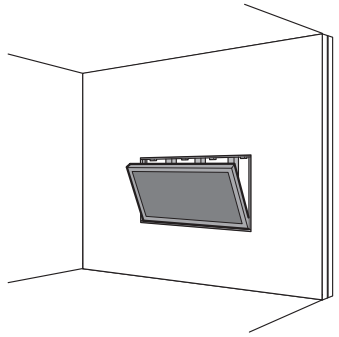
電気工事

5 コンセント・スイッチの設置 ……9ページ



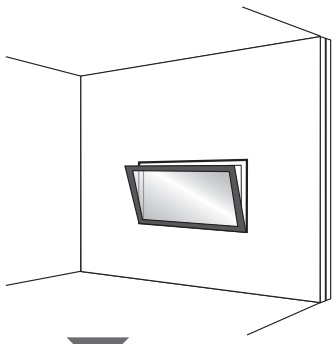
電気工事

6 テレビの設置 ……10ページ

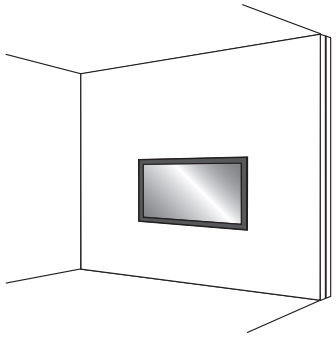


電気／大工工事

7 カバーガラスの設置 ……14ページ



完 成



施工手順

お願い ウォールイン・ディスプレイユニット周辺の壁面は耐力壁としては取り扱わないでください。

1 壁下地施工 大工工事

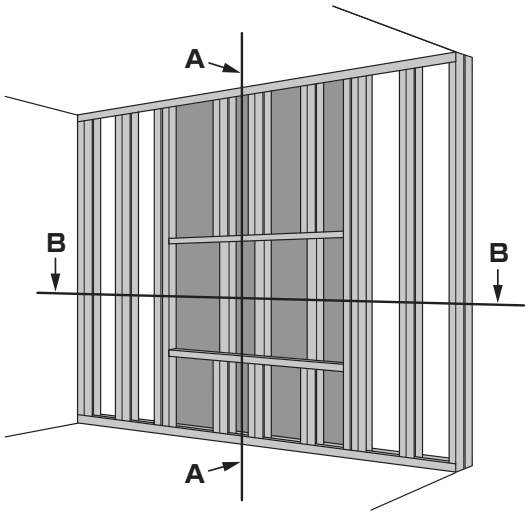
[寸法単位：mm]

壁下地を下図のように組む。

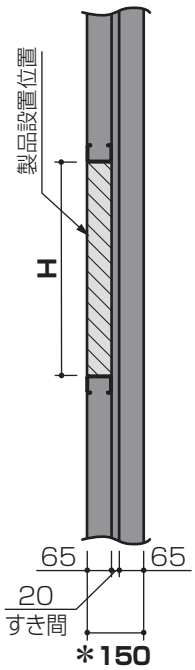
軽量鉄骨下地の場合

＊寸法は配線・放熱のために必ず確保してください。
■ 領域には断熱材を入れないでください。

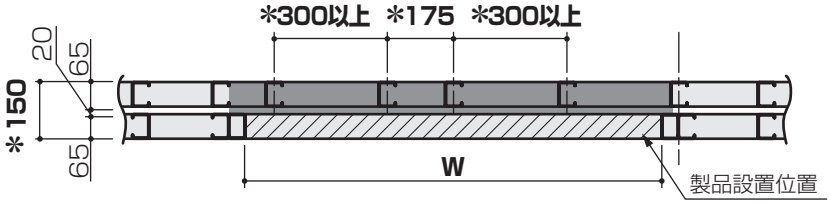
	32インチ	42インチ
W	867	1097
H	570	700



A−A 断面図



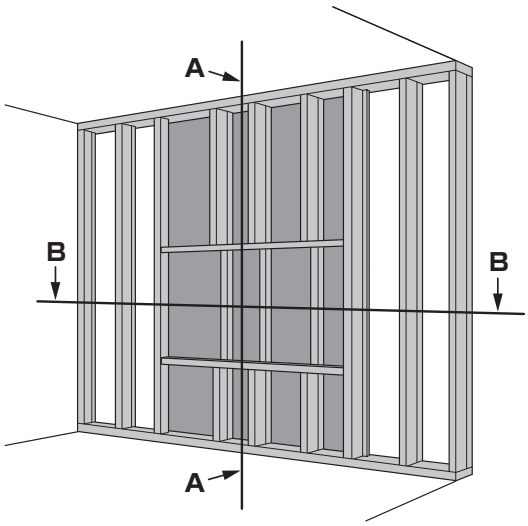
B−B 断面図



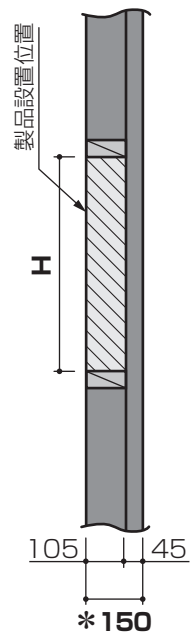
木造下地の場合

＊寸法は配線・放熱のために必ず確保してください。
■ 領域には断熱材を入れないでください。

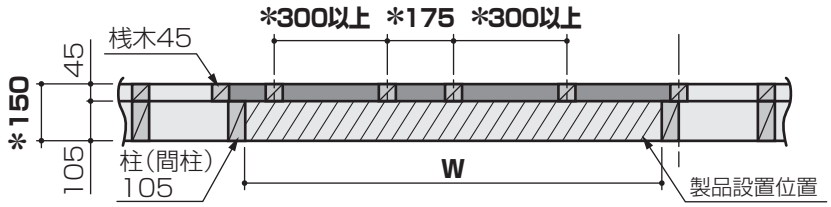
	32インチ	42インチ
W	867	1097
H	570	700



A−A 断面図

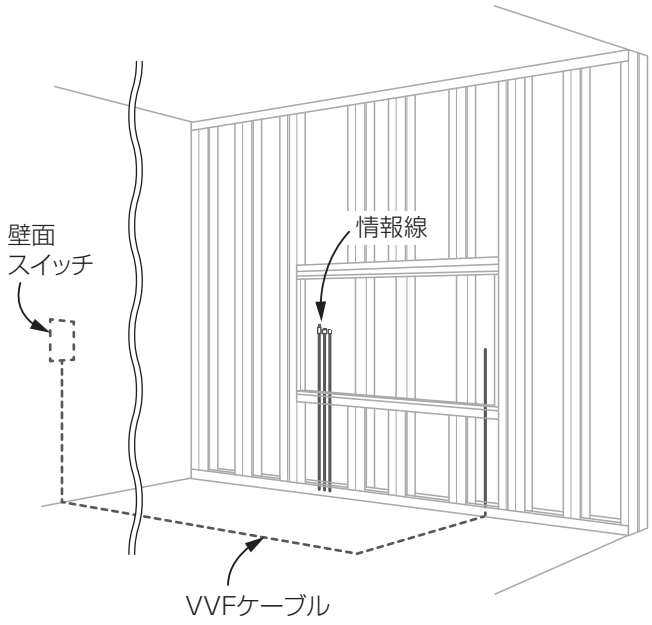


B−B 断面図



2 配線の引き込み 電気工事

テレビアンテナ線などの配線を行う。



ポイント

- ●テレビアンテナ線、VVFケーブル、HDMI、USB、赤白黄ピン、LAN、光通信ケーブルなど必要と思われるものは全て配管・配線してください。
- ●コードの長さが不足しないように十分な余長をとってください。
- ●将来、増設が予測される配線は先行配線しておいてください。または、空配管を入れておいてください。
- ●壁面スイッチの位置は、事前にお客様とご相談の上、決めてください。

⚠警告

必ず守る

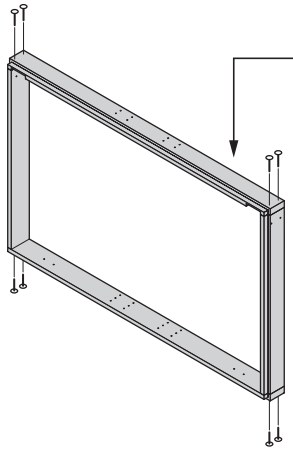
●電気工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う

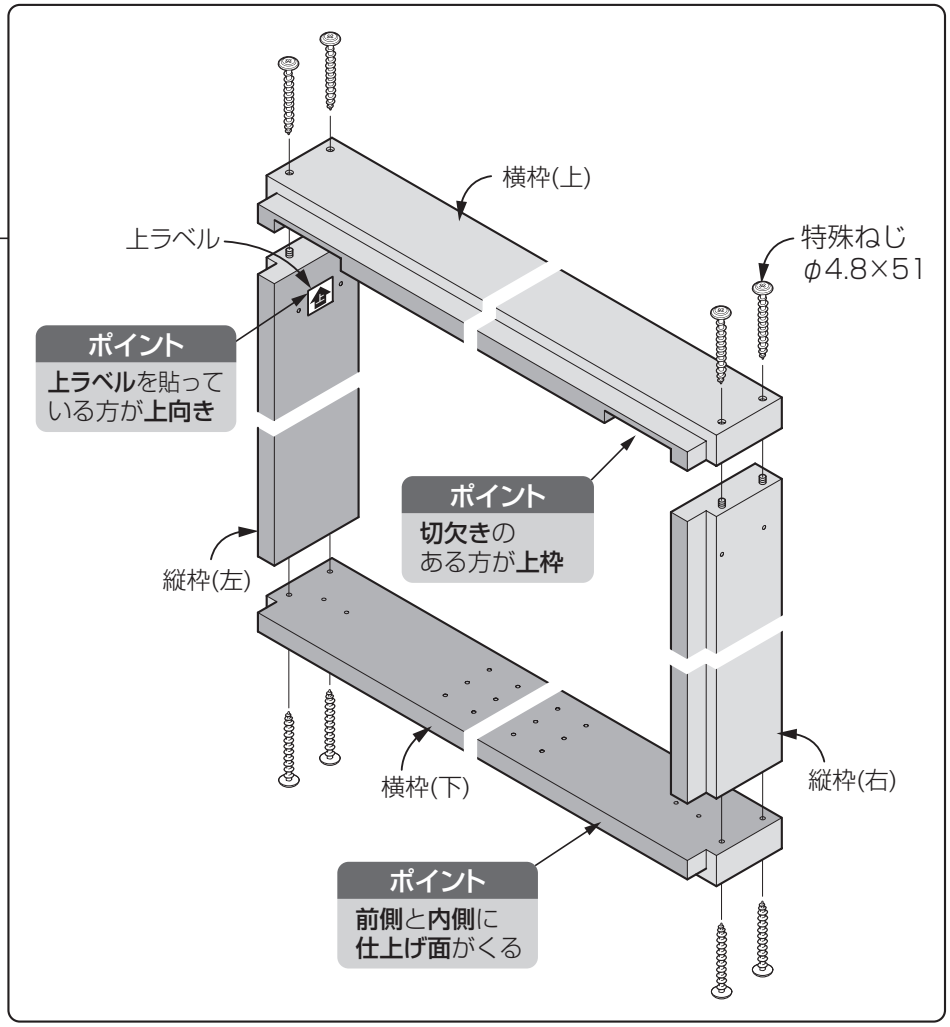
火災や感電、事故の原因になります。

3 本体枠・ボード受け桟の取り付け 大工工事

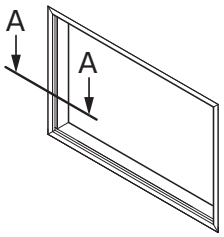
1 本体枠の組み立て

横枠、縦枠の向きを確認し、ねじで8か所固定する。





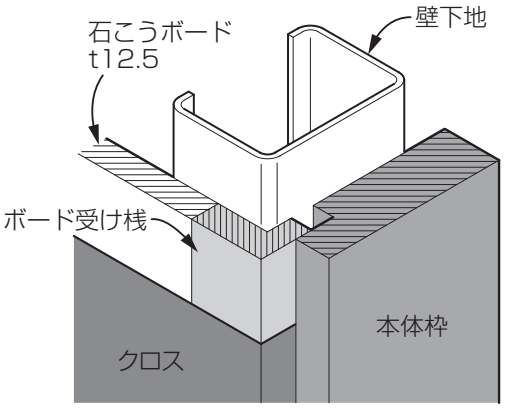
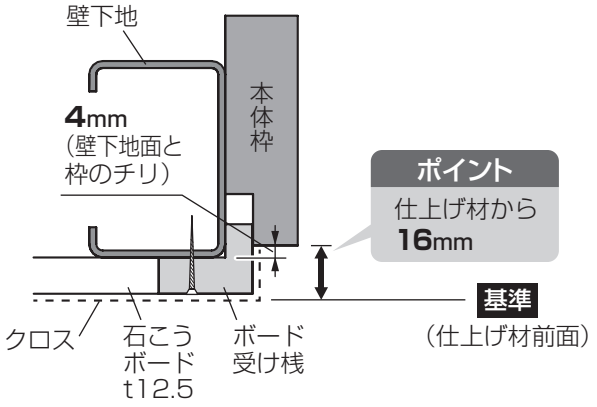
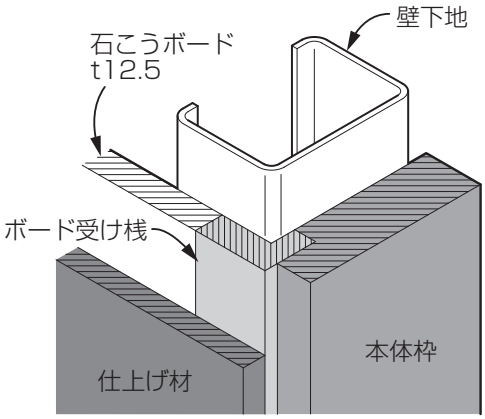
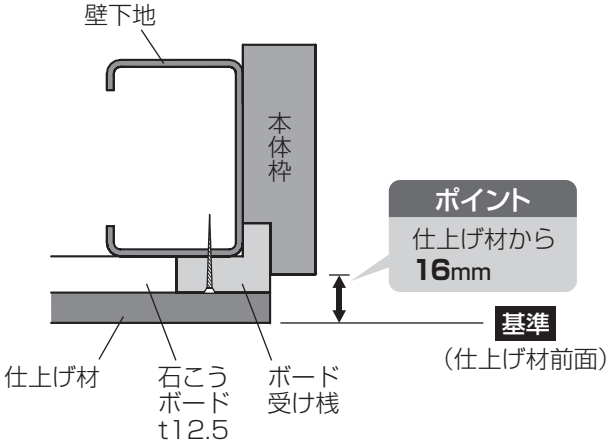
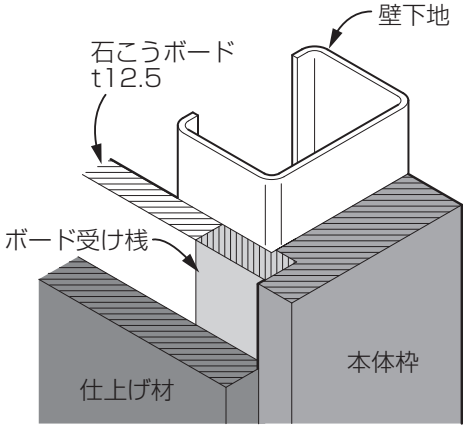
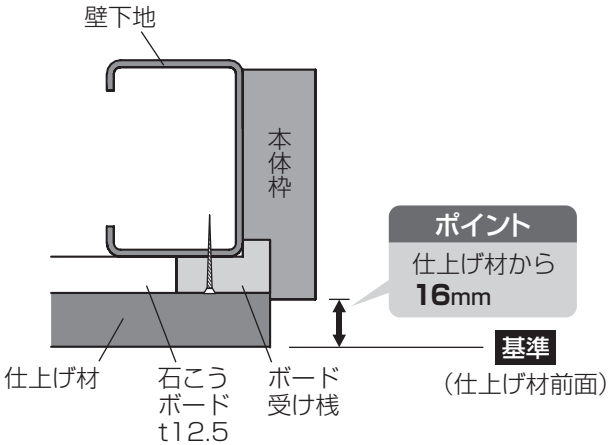
2 納まりの確認



下記の表を参考に本体枠、ボード受け桟、石こうボード、クロス（仕上げ材）の納まりを確認する。

※仕上げ材の厚みが変わっても枠段差（仕上げ材と枠本体のチリ）を16mm確保してください。

[寸法単位：mm]

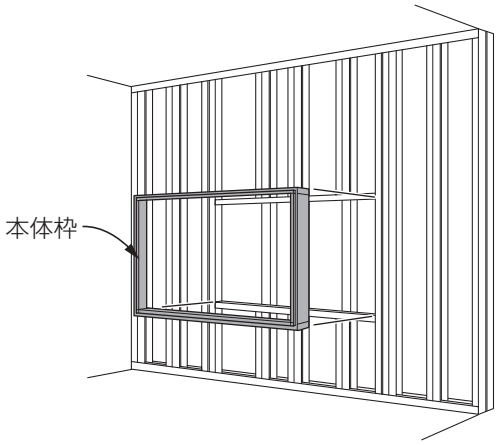
仕上げ材厚さ	納まり（A−A断面）
クロス	 
クロス以外（〜10mm）	 
クロス以外（10mm〜20mm）	  **ポイント** 仕上げ材の厚みが10〜20mmの場合は、**ボード受け桟のカット**が必要になります。詳しくは8ページ参照。

3 本体枠の取り付け

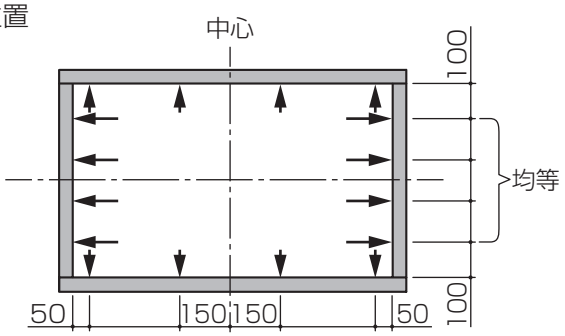
[寸法単位：mm]

本体枠の水平・垂直を確認し、壁下地にねじで固定をする。

※取り付け位置は、7ページ **2 納まりの確認** を必ず確認してください。

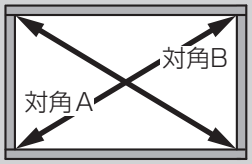


■ねじの固定位置



軽鉄下地の場合	木製下地の場合
なべタッピングねじ φ3.5×35 （現場調達）	皿木ねじ φ4.5×50 （現場調達）

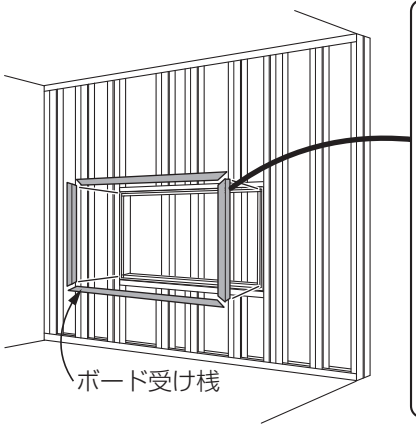
ポイント



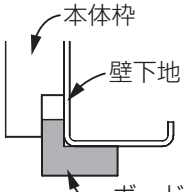
本体枠の対角**A－B＝2mm**以内となるように設置する。

4 ボード受け桟の取り付け

ボード受け桟を壁下地にねじで固定する。

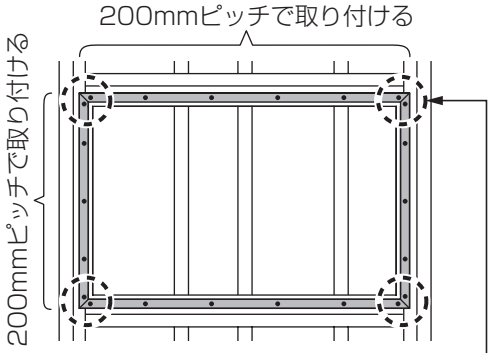


ボード受け桟は9mm側を枠の溝に差し込んでください。



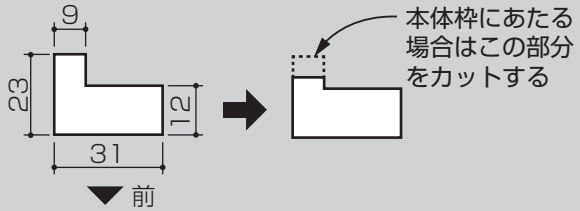
■ねじの固定位置

軽鉄下地の場合	木製下地の場合
皿タッピングねじ φ3.5×30 （現場調達）	皿木ねじ φ3.5×32 （現場調達）



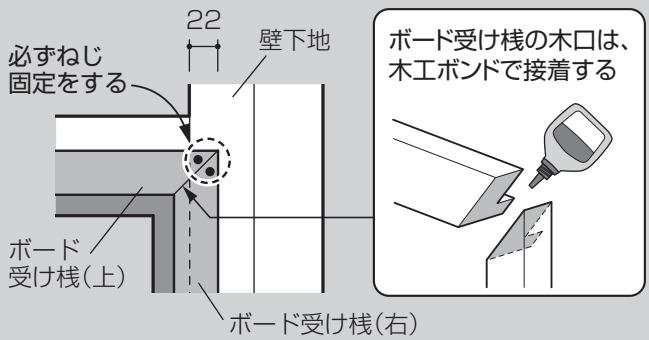
ポイント

仕上げ材の厚みが10～20mmの場合は、**ボード受け桟をカット**して使用する。



カット寸法(例):
仕上げ材15mm厚の場合 → 5mmカット

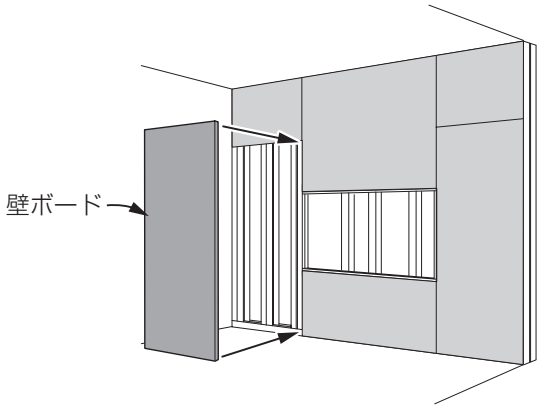
ポイント



4 壁仕上げ 内装工事

1 壁ボード貼り

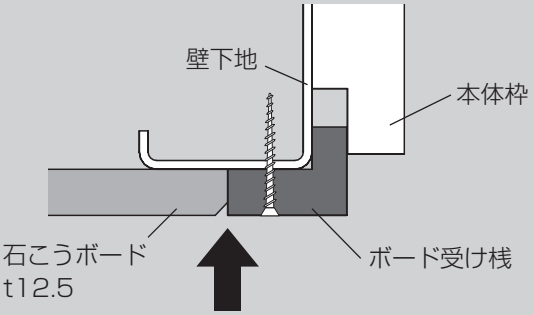
壁下地に壁ボードを貼り付ける。



ポイント

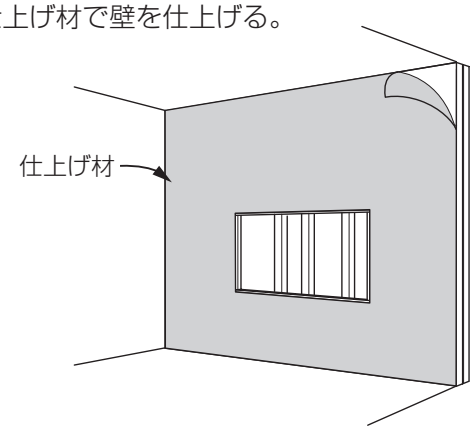
●石こうボードの端面は面取り加工を行う。
●ボード受け桟と石こうボードの突き付け部のパテ処理は、しっかりと行う。

不十分な場合、クロス仕上げ後に下地写りすることがあります。

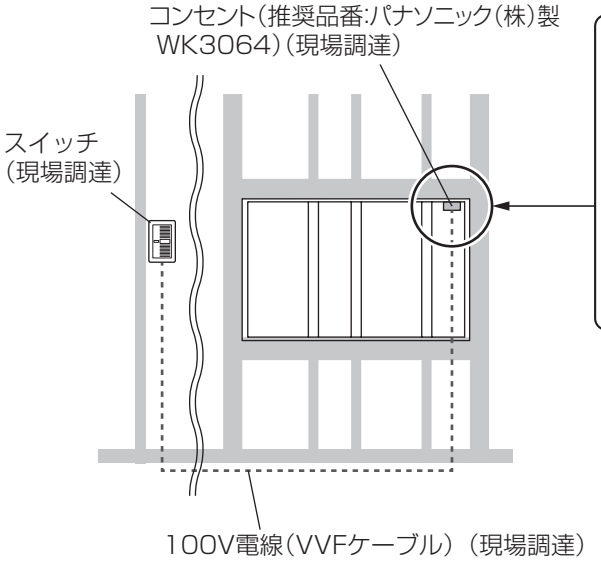


2 壁仕上げ工事（クロス他）

クロスや仕上げ材で壁を仕上げる。

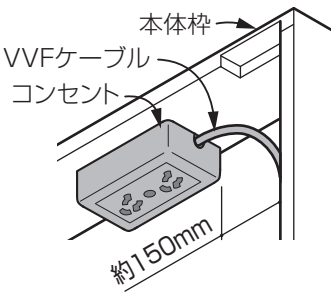


5 コンセント・スイッチの設置 電気工事



抜け止め防止タイプコンセント（トラッキング防止のため、下向きに取り付けてください。）

※カバーガラスと当たらない位置に設置する。
※２口コンセントで残った１口には保護キャップをつける。（現場調達）（推奨品番：パナソニック（株）製 WH9901P）



ポイント

●壁面スイッチの位置は、事前にお客様とご相談の上、決めてください。

⚠警告

必ず守る

●**電気工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う**
火災や感電、事故の原因になります。

●**スイッチは必ず設置する**
非常時に電源を切ることができず、火災などが発生するおそれがあります。

6 テレビの設置 電気工事

手袋着用

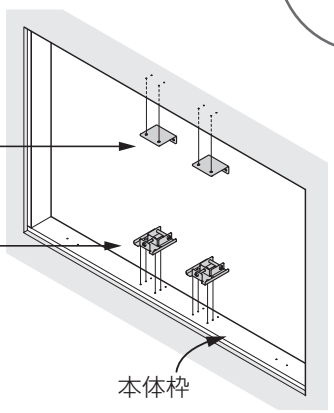
1 テレビ固定受け金具（上・下）の取り付け

本体枠にテレビ固定受け金具（上・下）をねじ固定する。

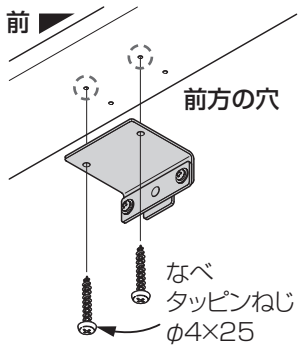
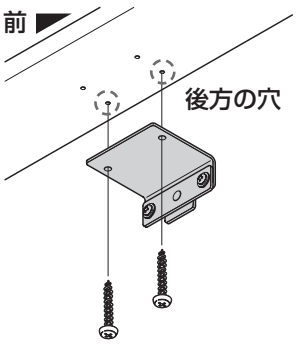
ポイント

テレビ固定金具受け金具の取り付け位置は、**テレビの奥行き**によって変わります。

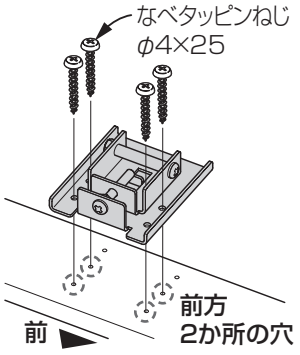
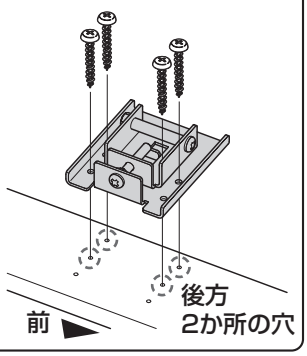
※テレビの奥行きは、テレビの取扱説明書を参照してください。



テレビ固定受け金具（**上**）

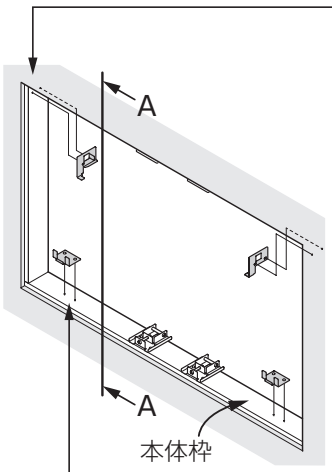
テレビの奥行きが **55〜70mm**の場合	テレビの奥行きが **71〜85mm**の場合
	

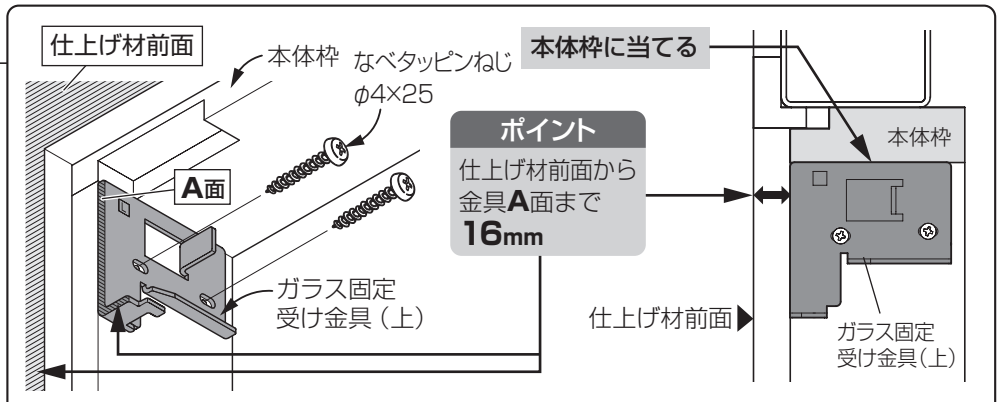
テレビ固定受け金具（**下**）

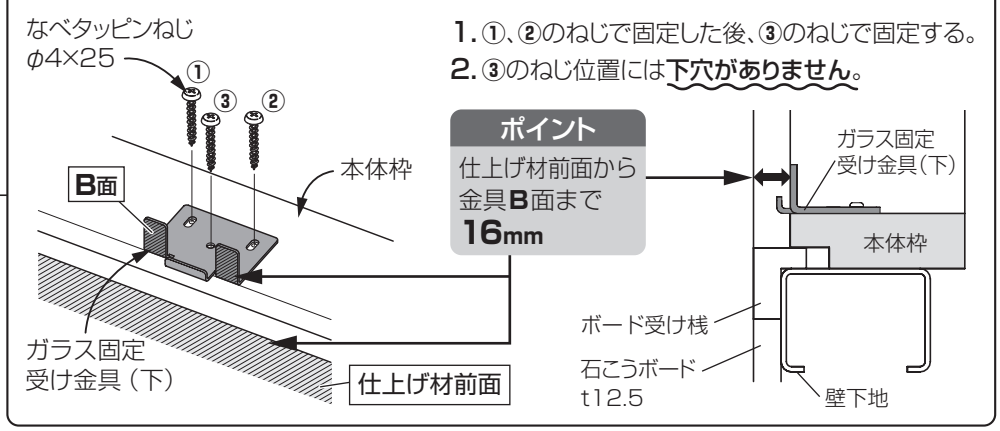
テレビの奥行きが **55〜70mm**の場合	テレビの奥行きが **71〜85mm**の場合
	

2 ガラス固定受け金具（上・下）の取り付け

本体枠にガラス固定受け金具（上・下）をねじ固定する。





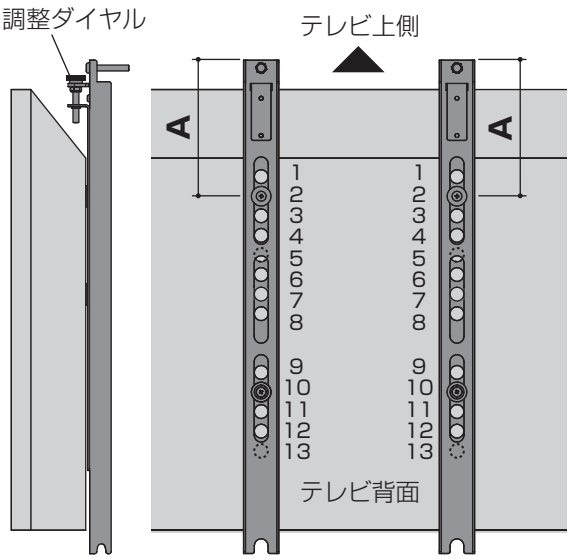


3 テレビ背面への金具固定

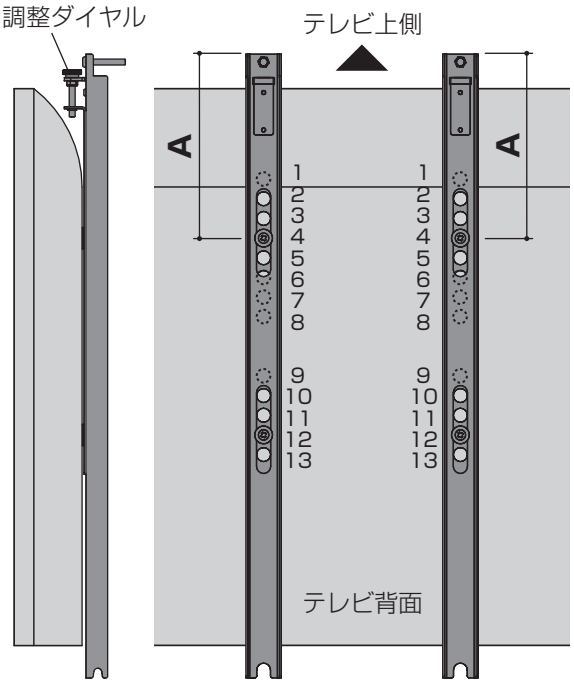
対象テレビ品番表に記載されていない
テレビ品番についてはホームページで
ご確認いただけます。URLなどの
詳細は裏表紙をご覧ください。

取り付け穴位置

32インチ



42インチ



A寸法：テレビ固定金具の端部から
テレビ固定ねじ（上）中心までの寸法

⚠注意

必ず守る

●取り付けする時は、必ず手回しドライバーで作業を行う

電動ドライバーを使用すると、ねじが空回りして製品の落下・転倒によるけがのおそれがあります。
また電動ドライバーの振動でテレビが故障するおそれがあります。

1. テレビ固定金具の向きと取り付け穴の位置を確認する。

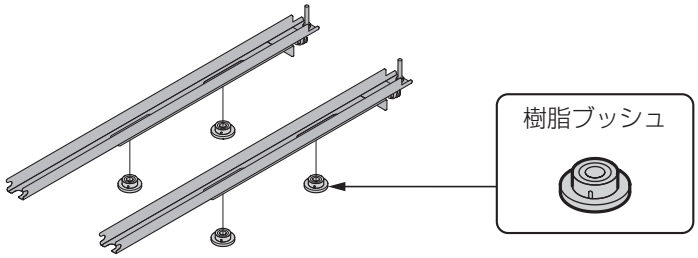
対象テレビ品番		穴位置
32インチ	TH-32C325／TH-32C320	2・10番目
	TH-32C305／TH-32C300	
42インチ	TH-42C305／TH-42C300	4・12番目

※2015年10月現在

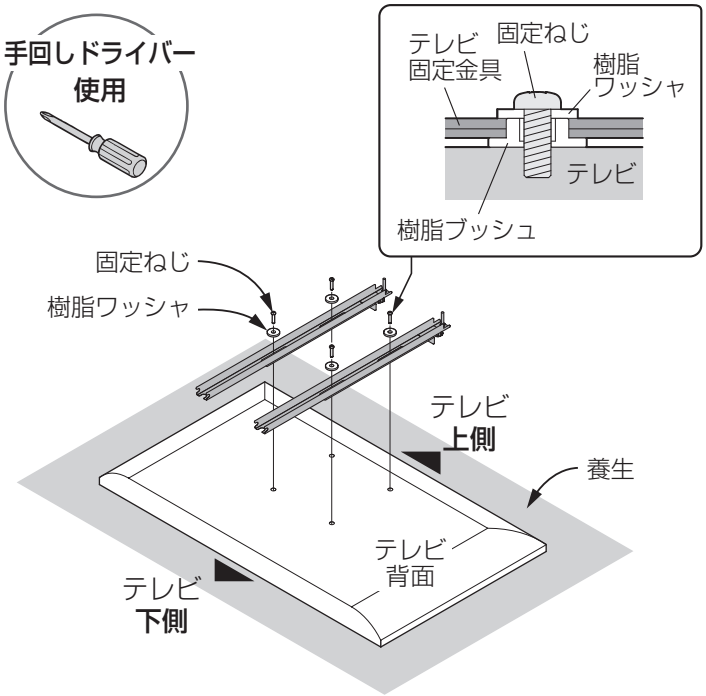
表に記載されていない品番は、ホームページでご確認ください。

2. テレビの背面にテレビ固定金具をねじ固定する。

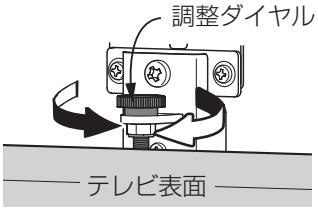
① 樹脂ブッシュをテレビ固定金具にはめ込む。



② 固定ねじでテレビの背面に固定する。



3. 調整ダイヤルを左右に回してA寸法を調整する。



テレビ位置
時計回り　：上⇧
反時計回り：下⬇

対象テレビ品番		A寸法
32インチ	TH-32C325／TH-32C320	139mm
	TH-32C305／TH-32C300	
42インチ	TH-42C305／TH-42C300	187mm

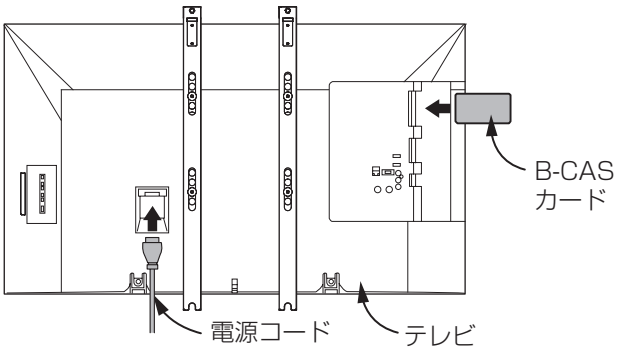
※2015年10月現在

表に記載されていない品番は、ホームページでご確認ください。

4 本体枠への固定

1. テレビにB-CASカードを挿入し、電源コード、その他の情報線を接続する。

※接続方法はテレビの取扱説明書を確認してください。



⚠警告

必ず守る
●テレビを設置する時、電源コードなどを挟み込まないようにする
火災や感電、事故の原因になります。

⚠注意

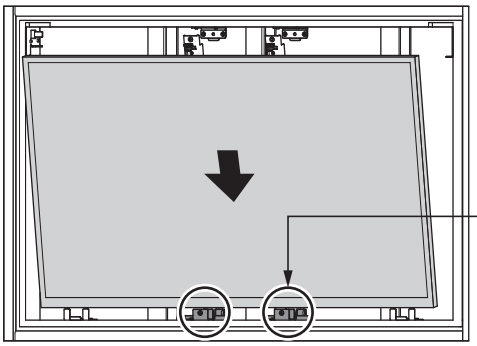
禁止
●施工は一人作業で行わない
製品が重量物のため、けがをするおそれがあります。

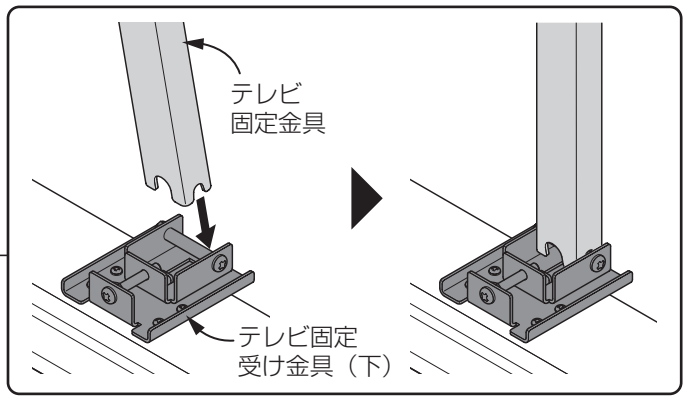
必ず守る
●テレビを設置する時、指を挟み込まないようにする
けがをするおそれがあります。

お願い

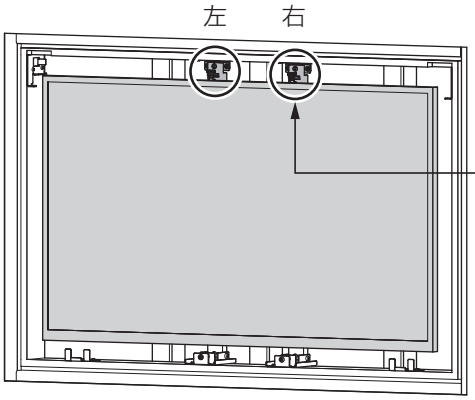
- ●電源コードは、本体枠取り付けコンセント、テレビ本体に奥までしっかりと差し込んでください。
- ●B-CASカードは折り曲げたり、変形させたりしないでください。

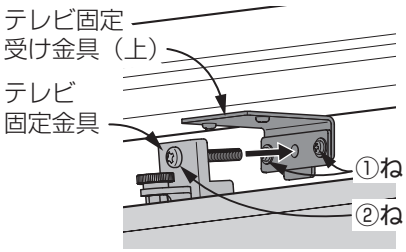
2. テレビ固定受け金具（下）の丸棒部分にテレビ固定金具を引っ掛ける。





3. テレビ固定金具をテレビ固定受け金具（上）に取り付ける。

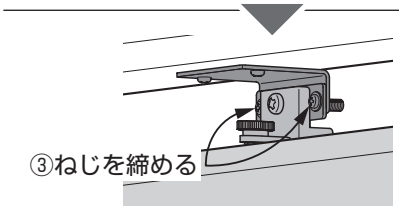




お願い

片側だけ一気に締めるとテレビがねじれるおそれがあります。②の固定は**左右交互に5mm（5回転）ずつ**締め付けてください。

※テレビの位置調整（13ページ）と兼用ねじなので完全に締め切る必要はありません。



⚠注意

必ず守る
●取り付ける時は、必ず手回しドライバーで作業を行う
電動ドライバーを使用すると、ねじが空回りして製品の落下・転倒によるけがのおそれがあります。

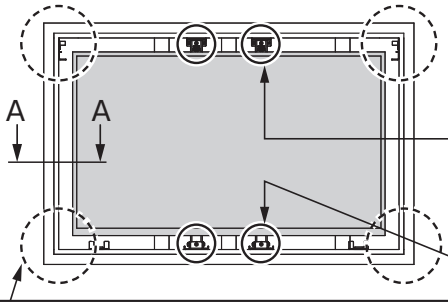
5 テレビの位置調整

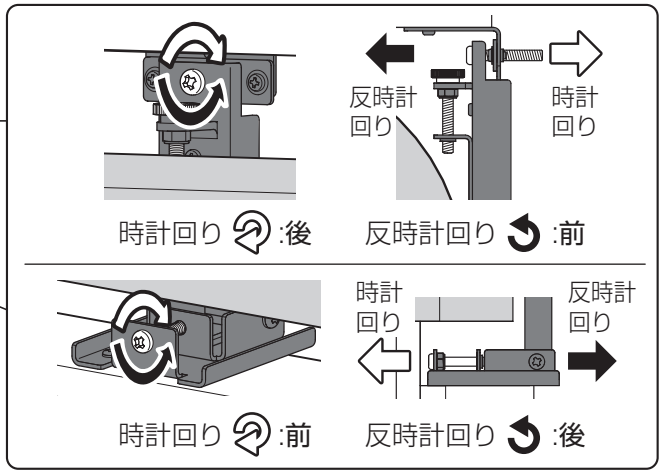
対象テレビ品番表に記載されていないテレビ品番についてはホームページでご確認いただけます。URLなどの詳細は裏表紙をご覧ください。

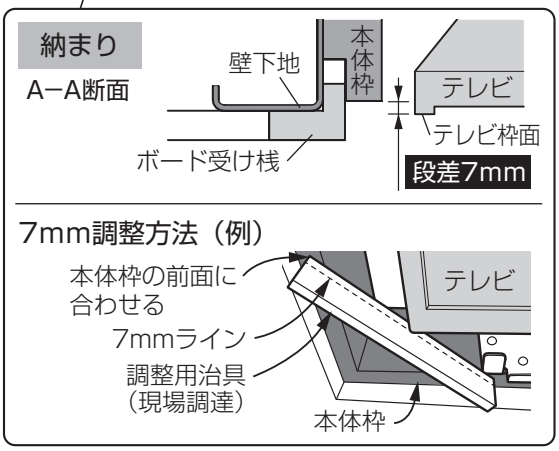
お願い テレビの位置調整をしないと、テレビの枠が見えたり、リモコンが効かなくなる場合がありますので、必ず下記のように調整を行ってください。

手回しドライバー使用

1. 本体枠前面とテレビ枠面との段差が7mmになるように前後の位置を調整する。







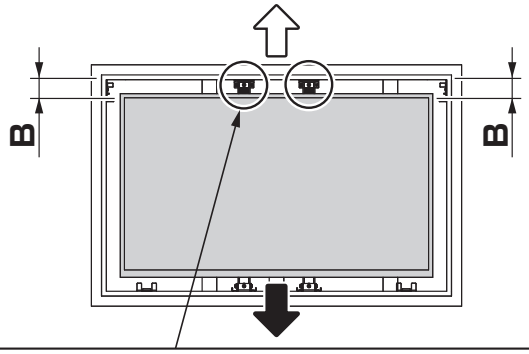
⚠注意

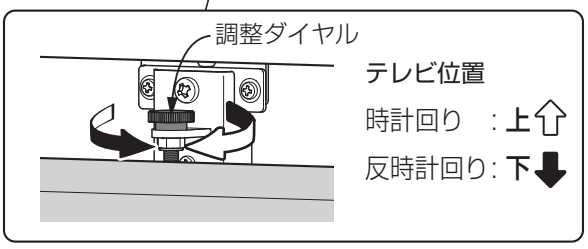
必ず守る

●調整する時は、必ず手回しドライバーで作業を行う

電動ドライバーを使用すると、ねじが空回りして製品の落下・転倒によるけがのおそれがあります。

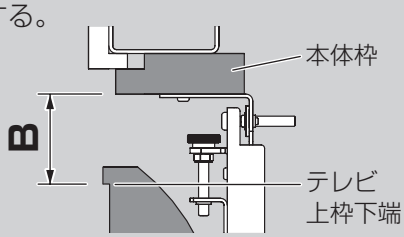
2. 調整ダイヤルを左右に回し、下表（**B**寸法）を参考に上下の位置を調整する。





ポイント

B寸法（**枠**から**テレビ上枠下端**まで）が下表の値になるように調整する。

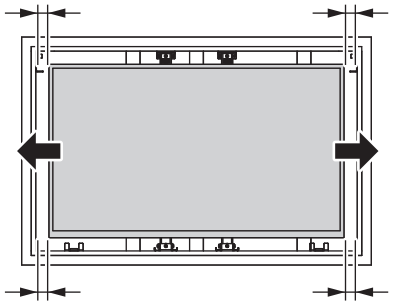


対象テレビ品番		B
32インチ	TH-32C325／TH-32C320	58mm
	TH-32C305／TH-32C300	
42インチ	TH-42C305／TH-42C300	56mm

※2015年10月現在

表に記載されていない品番は、ホームページでご確認ください。

3. 本体枠を基準にして、テレビと本体枠のすき間が均等になるようにテレビを動かして左右を調整する。



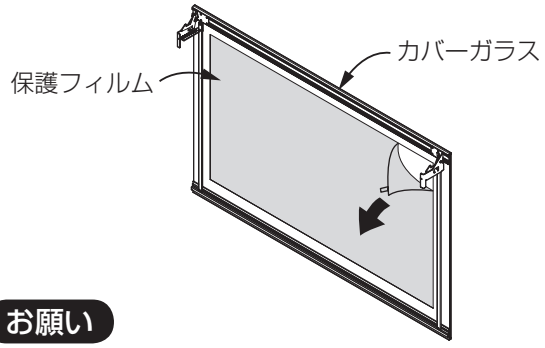
7 カバーガラスの設置 電気／大工工事

手袋着用

お願い テレビ･AV機器が正常に作動することを確認後、カバーガラスの設置をしてください。
なお、テレビの「かんたん設置設定」の「画質調整設定」においては“ご家庭用”を選択してください。映像モードは「スタンダード」となります。“店頭用”を選択しますと映像モードが「ダイナミック」となり、テレビの温度が上がり、テレビの寿命が短くなるおそれがあります。

1 保護フィルムの取り外し

カバーガラス裏面の保護フィルムをはがす。



お願い

- ほこりが静電気でつきやすいので、ほこりが付着しないようにしてください。
- 設置前にガラスに傷がついていないか確認してください。

⚠警告

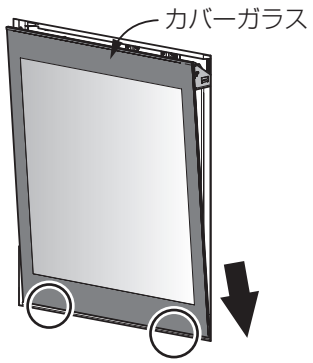
禁止	**●カバーガラスにぶらさがらない** カバーガラスの落下によりけがをするおそれがあります。

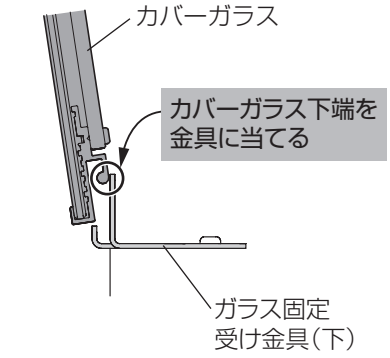
⚠注意

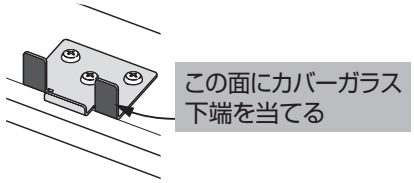
禁止	**●施工は一人作業で行わない** 製品が重量物のため、けがをするおそれがあります。
必ず守る	**●カバーガラスを設置する時、指を挟み込まないようにする** けがをするおそれがあります。

2 カバーガラスの仮固定

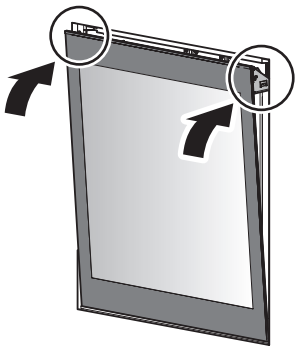
1. カバーガラス下端をガラス固定受け金具(下)に当てる。

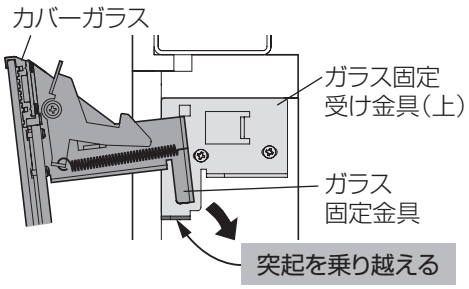


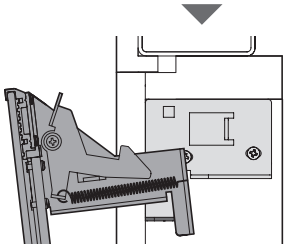




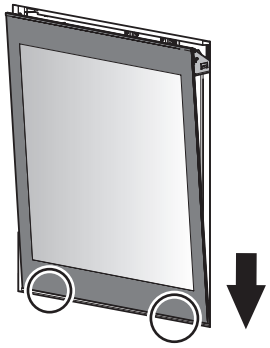
2. カバーガラスを少し持ち上げながらガラス固定金具をガラス固定受け金具(上)の突起にひっかける。

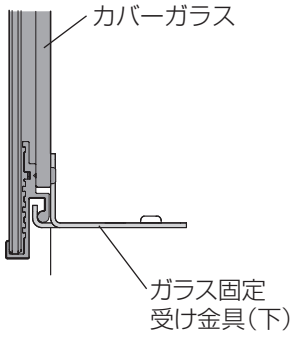






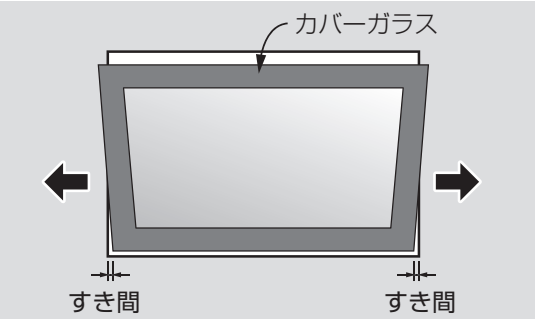
3. カバーガラスを下におろしてカバーガラス下端をガラス固定受け金具(下)に差し込む。





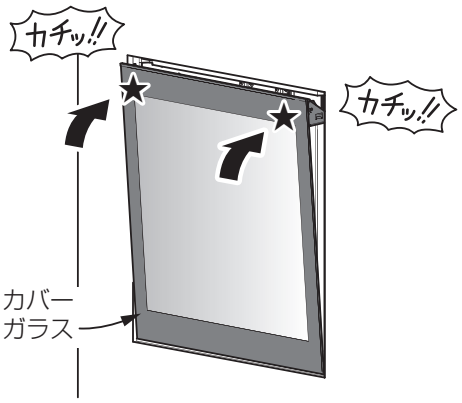
3 カバーガラスの位置調整

カバーガラスの位置を左右のすき間が均等になるように調整する。



4 カバーガラスの本固定

★部を押してカバーガラス上側のガラス固定金具を、ガラス固定受け金具（上）に「カチッ」と音が鳴るまで押し込み固定する。

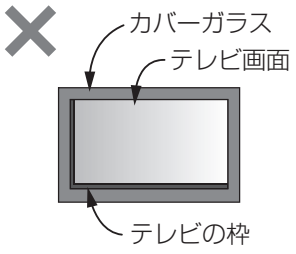


お願い

テレビの枠が見えていないことを確認してください。

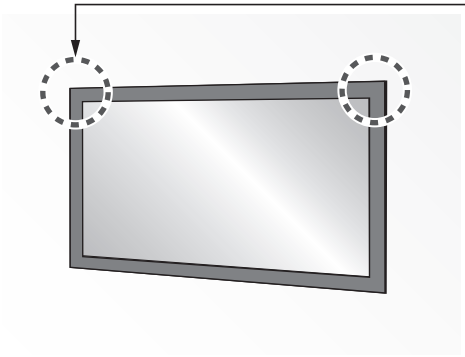
枠が見えている場合は、テレビの位置がずれています。カバーガラスをいったん取り外して、再度テレビ位置を調整してください。

※13ページの 5 を参照してください。

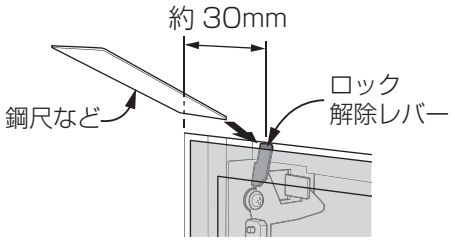


カバーガラスの取り外しかた

1. ロックを解除してカバーガラスを傾ける。



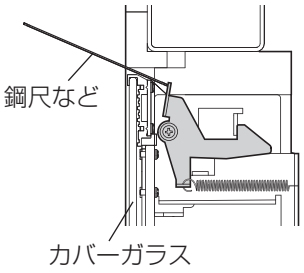
ロック解除レバーの位置



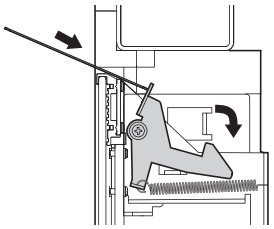
お願い

ドライバーなどでこじあけないでください。

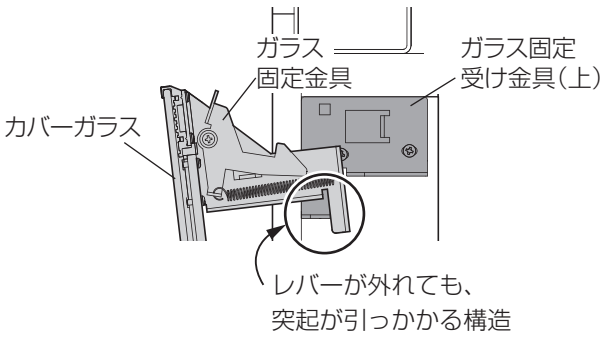
①鋼尺などを斜め下方に差し込む。



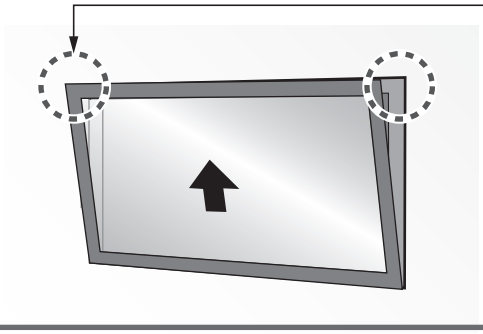
②鋼尺などを斜め下方に押し込み、ロックを解除する。

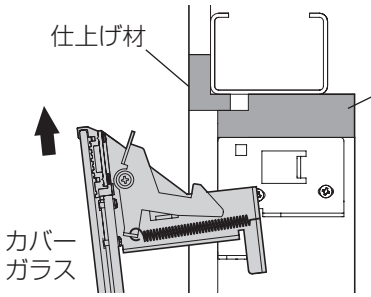


※ロックを解除してもガラスが落下しないように保持されます。



2. ほぼ真上に持ち上げてカバーガラスを取り外す。



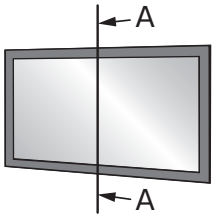
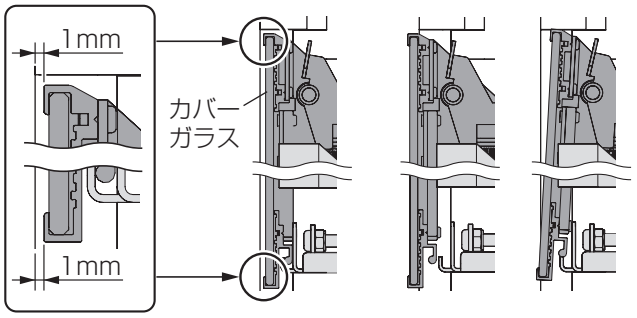


お願い
本体枠や仕上げ材に
当たらないように
取り外してください。

お願い 施工完了後、お引き渡しまでにガラスの破損や傷をつけないよう、適切な養生をしてください。

施工後の確認

全ての作業の完了後に、下記をチェックしてください。

チェック項目	方法	チェック
カバーガラスの前後位置が正しいこと。 ※正しくない場合は、10ページを参考にガラス固定受け金具の位置を調整してください。  ○ カバーガラス上下のガラスフレームが仕上げ材より1mm控えている × 仕上げ材より前に出たり、ななめになっている  A–A 断面図	目視	
カバーガラスが確実に押し込まれ、固定されていること。	目視	
カバーガラスに傷がついていないこと。	目視	
カバーガラス透明部にテレビの枠が見えていないこと。	目視	
カバーガラスとテレビの間にほこりがないこと。	目視	
テレビ・AV機器が正常に作動すること。	動作確認	
テレビのリモコンが正常に作動すること。	動作確認	
テレビの「映像調整」の「映像モード」において「スタンダード」が選択されていること。	設定確認	

■ 引き渡し

- ●取扱説明書にしたがって取り扱い方法をお施主様にご説明ください。
- ●保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
- ●カバーガラスに貼り付けているガラス注意紙、取扱説明書をはがし、テレビの取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

テレビ設置に必要な情報は（対象テレビ品番など）、ウォールイン・ディスプレイユニットのホームページでご確認いただけます。

●パソコン・スマートフォン・携帯電話からご覧いただけます。
http://www2.panasonic.biz/es/sumai/interior/cwf/wallin/

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2015

D0515-2105